埼玉県立文書館 学習指導案 (高校日本史 収蔵資料を使った授業)

1 主に使用する資料

小室家6369-16 「太閤秀吉黒船大阪凱征之図」



歌川貞秀の浮世絵です。1 864 (元治元) 年に刊行さ れました。当時、将軍家を描 くことが禁じられていたた め、別の人物に見立てて描か れました。このような絵は、 「見立て絵」と呼ばれ、民衆 にも人気がありました。

2 指導例

(1) 本時のねらい

- ・資料の読み取りを通して、資料読み取りの視点や方法を身に付けるとともに、資料を読み取ること の良さや楽しさを実感させる。
- ・学芸員の解説を通して、資料の内容や資料が描かれた時代背景、資料読み取りの意義への理解を深 める。

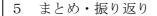
(2)展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 文書館について知る	○スライドを提示しながら、文書館の役	・文書館
・文書館の紹介を聞くこと	割や収蔵資料について簡潔に紹介する。	紹介スラ
		イド
2 本時の学習内容を説明する		
文書館の収蔵資料を使って、資料読み取りのポイントを知ろう。		
	 ○資料を見る視点が分かると、資料の内	
	容や背景までより深く読み取ることが出	
	来ることを伝える。	
 3 - 資料を読み取る	○資料名をふせて、資料のスライド提示	・小室家
・資料を読み取ること	をする。	6369-16
・個人で読み取った後、意見交換すること	○どんなことでも見つけたことがあった	「太閤秀
	らノートにかき出すように伝える。	吉黒船大
	○生徒が読み取った内容を発表させる。	阪凱征之



くこと

- 異なる時代のものが、同じ絵の中に描かしれる絵であることを伝える。
- れている理由を考え、意見交換をすること │○意見交換の後、このような絵が描かれ
- ・学芸員の解説を聞くこと



に書くこと

発表内容を黒板に書きだしながら、スラ イドで確認する。

- ントを解説する。
- ○資料名から時代の異なる豊臣秀吉が黒 船に乗っていることに気づかせ、生徒に 問題意識を持たせる。
- 4 見立て絵が描かれる時代背景を考える | ○学芸員は、資料が「見立て絵」と呼ば
 - た時代背景を解説する。



・本時の授業を振り返り、アンケート用紙 │○資料を読み取るときのポイントや学んだ |・アンケ ことを記入させる。

ート用紙

図」

3 生徒の感想

- ・資料を読み取る際には、その資料の違和感に気づいたり、時代背景をよく考えたりすることが重要なの だと思ました。
- ・絵から歴史の深さなどを知れて興味深いものがありました。歴史をもっと知っていたら楽しかったのか
- ・資料一つだけで、本当に多くのことを知ることができるんだなと思い、とてもわくわくして興味深かっ たです。

4 担当より

- ・本指導例は、高等学校学習指導要領地理歴史第 4 日本史探究の内容 C に関連して構成したものです。
- ・資料読み取りの興味を高めることをねらいとしているため、単元から独立した内容として実施すること ができます。
- ・同年代の見立て絵として、「小室家 6369-15 建 久元年源頼朝卿上京行粧之図」(右図)があります。
- ・資料の差し替え、または、資料を二つ使って読み 取りを深めるということも可能です。学校等支援 担当に御相談下さい。

